

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 2月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育の内容によって、戸外での活動を取り入れるなど工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		十分に配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚支援を効果的に取り入れながら、わかりやすい支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		使用した玩具の消毒をこまめに行っています。	利用者の必要に応じた環境構成を、整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		「スツールーム」を設置。ですが、完全なる個室はむずかしい環境です。	パーテーションの導入等を検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で情報共有を欠かさず、療育の質を高めていく努力をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			いただいたご意見を真摯に受け止めながら改善していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行い、業務の振り返りを行なっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在予定はありませんが、必要があれば今後、検討させていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員が自主的に研修を受けやすい制度を設け、積極的に資質向上を目指しています。	年間計画を立てながら、さまざまな研修を受講し、資質向上を目指しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表されています。	利用者の状況やニーズに合わせ、定期的に見直してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用者のニーズを伺いながら、職員間で分析し、丁寧に作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を行い、職員の意見やアイデアも取り入れ支援計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育の振り返りを常に行いながら、個々の目標を明らかに成長を見守っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保育所保育指針等を参考にしながら、個々の成長を照らし合わせ無理のない指導計画を作成しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個々のニーズを捉え、優先順位を定めるなどして工夫して支援しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々に合わせたプログラムが工夫されています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節を感じられる活動や、目標設定も掲げながら工夫しています。	

供						
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の発達に応じた関わりに重視し、個別と集団活動のウエイトを適宜変更しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		利用者に応じた適切な支援ができるように、毎回、療育時間前に担当を振り分け、シュミレーションを行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の提供内容について、毎回振り返りを行い、次に繋げていけるように共通把握しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		提供後のフィードバックの徹底を重視し、必ず記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングはもちろん、日々の聞き取りも大切に支援に繋げています。	
関係機関や保護者との連携	24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じ、担当者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者が関わる関係各所に対して、保護者の協力の下、積極的に訪問するなど情報共有を大切にしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		実際に訪問をするなどして、当該児の発達面など、情報共有、相互理解を重ね、支援に反映しています。	訪問件数を増やししながら、より相互理解を深め、支援の質を高めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		関係機関にアプローチしながら、移行支援を積極的に行なっています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		職員が適材適所での研修等の機会が得られるよう、視野を広げていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		定期的に、自社の保育園との交流を実施しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		丁寧に提供記録に記載し、送迎時を利用しながら、口頭でも日々の様子を伝えるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の声にも耳を傾け、適宜助言ができるように心がけています。	支援においての細かな気づきも共有しながら相互理解に努めています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に、お時間をいただき、読み合わせを行いながら共有します。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に、保護者の納得がいくまでモニタリング、アセスメントの機会を設け実施しております。	5領域に基づき、より細分化された計画を立案していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成後、保護者説明を欠かさず行います。	

	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		利用者や家族の気持ちや様子の変化に敏感であるよう送迎の時間等を活用し、対話する時間を持つようにしています。	必要な時は、あらためて面談の機会を設けています。
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参加イベントの開催	ニーズに合った保護者同士の繋がりを作りたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れのあった場合、可能な限り、迅速に対応できるよう、職員間で共有しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎回の活動内容を報告したり、SNS・HP等も活用しながら発信しています。	翌月の活動予定の発表が遅れないようにより計画性を持って対応していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて、定期的に注意喚起するとともに、取り扱いルールを厳しく定めています。	
	43	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすい共有の方法を常に工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討予定です。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年4回、職員対象にマニュアルテストを実施。つど、振り返り、改善策を講じています。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月2回、想定を変えながら避難訓練を行なっています。年2回、同建物の保育園と合同で震災級の避難訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用契約時、フェイスシートを用いて、聞き取りを行います。必要な対応を保護者に確認し職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギー児に対しては、医師の診断書を提示いただくなど対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員対象に、AED心肺蘇生訓練を行なっています。避難経路、避難場所、公衆電話の場所の確認など共通把握しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		施設に掲示しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		あらゆる事項を対象にしながら、職員間で共有し、きめ細やかな療育の提供を目指しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止についての理解を深め、積極的に研修に参加しています。 虐待防止委員会開催。	年間計画を立て、各自研修を受講し、資質向上を目指しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		十分に説明しております。今後、該当のあった場合も、個別支援計画書にも漏れないよう記載していきます。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	塚本駅前にここツリーハウス			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育担当者は全員保育士資格保有 ・保育所、幼稚園勤務経験者あり	・子どもたちが日々、集団生活で何が困っているかを受け止め、タイムリーに療育に取り入れアプローチしていく。	・子どもたちが通所している園訪問することで園での様子を知り、先生たちとも情報共有を深めることで、子どもたちの過ごしやすい環境を整えていく。
2	・食育プログラムの実施	・食に対して、こだわりが強い、偏食など悩みを持つお子様に対して「たべること」の楽しさや大切さを伝える。 ・季節（旬）や栄養素にも意識を持ち、健康的な生活にも意識を向けている。 ・食事のマナーや食具の正しい持ち方を伝えている。	・さまざまな角度から「食」を楽しむことができるようにキノコ栽培や野菜を使った実験、行事食や世界の料理などにも着目していきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者と地域との交流機会や、保護者同士の交流の機会の提供不足。	・年間の計画として、保護者参加イベントの年1回の企画のみで、立案できていない。 ・平常時の「本人支援」に重点を置いているため、地域支援、地域交流に対する情報収集不足。	・研修会や保護者交流の企画立案と内容に関しては、保護者の意見やニーズを聴取しながら計画していく。 ・安全に考慮しながら、地域との関わりの機会を増やしていく。また、地域活動などの情報収集も積極的に行なっていく。
2	保護者の方への緊急時、非常時等への対応に対する周知、発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応マニュアル等の作成はされているが契約時のみの説明と事業所内掲示のみにとどまり、周知機会が不足している。	防災への取り組みや緊急時の対応に関して、内容を確認しながら保護者周知に努める。必要時、冊子の作成。 HUGやホームページ等を通じて、保護者の方々へ発信していく。
3			

保護者等向け児童発達支援評価表

公表日：2025年2月28日

事業所名： 児童発達支援 塚本駅前こここツリーハウス

対象人数（保護者）31人 回答者数 19人 回収61.3%

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		少し活動スペースが狭い	活動に合わせた環境づくりを工夫していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	17		2		今後も専門性の向上に努めてまいります。
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じて配慮が適切になされていますか。	17		2		バリアフリー化は施設の構造上難しい部分もありますが、利用者の特性を捉え環境を整えていきます。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせ、子どもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				今後も安心してご利用いただける環境構成を努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	19				あらゆる視点から分析できるように資質向上を目指します。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、提供する支援内容と合っていると思いますか。	18		1		療育の「みえる化」をこれからも実践してまいります。
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				利用者の思いを汲みながら、あらゆる角度からのアプローチを試みてまいります。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				利用者のニーズも大切にしながら、より専門的な視点からの支援のアプローチを目指していきます。
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18		1		より明確に紐づけることができるよう工夫していきます。
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	1		繰り返しの経験も大切にしながら、新しいチャレンジもしていきたいと思います。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	11		定期的に自社保育園との交流を実施していますが、機会があれば、積極的に交流を広げていきたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。また「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているですか。	18		1		お子さまの成長の中、共通理解が最も大切であるという観点からも大事にしています。
	⑭	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				必要に応じた支援を行なっています。
	⑮	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18		1		これからも利用者に寄り添う姿勢を忘れずに務めてまいります。
	⑯	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか。	5	7	7		保護者のニーズも伺いながら、交流の機会を増やしていけるよう善処してまいります。
	⑰	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		3		申入れがあった場合、可能な限り迅速に対応できるよう職員間で共有しています。
	⑱	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				みんなが安心できる場所であること、なんでも話せる雰囲気づくりを保っています。
	⑲	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18		1		翌月の活動予定の発表が遅れないように、より計画性を持って対応してまいります。
	⑳	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				個人情報の取り扱いに関して、定期的に職員間で確認を行なっています。
非常時等の対応	㉑	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	16	1	2		職員対象に年4回マニュアルテストを実施。今後もより詳細に緊急時の対応をシュミレーションしていきます。
	㉒	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				避難訓練は月2回程度。地震や火事を想定した訓練を行っています。
	㉓	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、交通安全など安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				「命を守る」大切さをしっかり伝えていきます。
満足度	㉔	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				たくさんの笑顔で溢れる場所であり続けたいと思います。
	㉕	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				子どもの「居場所」の提供を日々心がけています。
	㉖	事業所の支援に満足していますか。	19				日々進化しつつも安定した療育を心がけてまいります。

送迎対応	②7	送迎は正しく行われていますか。	15		4		安全走行を保持してまいります。
------	----	-----------------	----	--	---	--	-----------------

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名 塚本駅前にこここツリーハウス

公表日 2025年 2月 28日

注) 利用実績がないため、下記の表記となっております

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 塚本駅前こここツリーハウス

公表日

2025年 2月 28日

注) 利用実績がないため、下記の表記となっております

利用児童数 0

回収数 0

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	塚本駅前にこここツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	d (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	g (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・食育プログラムの実施	・食に対して、こだわりが強い、偏食など悩みを持つお子様に対して「たべること」の楽しさや大切さを伝える。 ・季節（旬）や栄養素にも意識を持ち、健康的な生活にも意識を向けている。 ・食事のマナーや食具の正しい持ち方を伝えている。	・さまざまな角度から「食」を楽しむことができるようにキノコ栽培や野菜を使った実験、行事食や世界の料理などにも着目していきたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への緊急時、非常時等への対応に対する周知、発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応マニュアル等の作成はされているが契約時のみの説明と事業所内掲示のみにとどまり、周知機会が不足している。	防災への取り組みや緊急時の対応に関して、内容を確認しながら保護者周知に努める。必要時、冊子の作成。 HUGやホームページ等を通じて、保護者の方々へ発信していく。
2	利用者と地域との交流機会や、保護者同士の交流の機会の提供不足。	・年間の計画として、保護者参加イベントの年1回の企画のみで、立案できていない。 ・平常時の「本人支援」に重点を置いているため、地域支援、地域交流に対する情報収集不足。	・研修会や保護者交流の企画立案と内容に関しては、保護者の意見やニーズを聴取しながら計画していく。 ・安全に考慮しながら、地域との関わりの機会を増やしていく。また、地域活動などの情報収集も積極的に行なっていく。
3			